

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公開番号】特開2010-203994(P2010-203994A)
 【公開日】平成22年9月16日(2010.9.16)
 【年通号数】公開・登録公報2010-037
 【出願番号】特願2009-51665(P2009-51665)
 【国際特許分類】

G 0 1 R 31/00 (2006.01)

G 0 1 R 1/073 (2006.01)

G 0 2 F 1/1345 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 31/00

G 0 1 R 1/073 D

G 0 2 F 1/1345

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0067】

図5に示すように、平坦な後向き面56を先端側のスリットバー28aの後端側の箇所、特にスリット32aと下向き面50との間の箇所に形成し、また後向き面56に当接された前向き面58を各プローブ22の取付領域34の先端側の箇所、特に荷重伝達部54と上向き面52との間の箇所に形成してもよい。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0069

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0069】

また、図6に示すように、各荷重伝達部54を、その後端において取付領域34、例えば前向き面58の前端下部に続くように、形成してもよい。この場合、プローブ22は、オーバードライブ力により荷重伝達部54がスリット32aの奥底面に押圧された後、荷重伝達部54より先端側のアーム領域36aの箇所において弾性変形する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0073

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0073】

- 10 プローブ組立体
- 12 電氣的接続装置
- 14 液晶表示パネル(被検査体)
- 22 プローブ
- 24 支持体

26 a、26 b 支持バー
28 a、28 b スリットバー
30 a、30 b サイドカバー
32 a、32 b スリット
34 取付領域
36 a、36 b アーム領域
38 a、38 b 針先領域
40 a、40 b 貫通穴
42 a、42 b 針先
50 下向き面
52 上向き面
54 荷重伝達部
56 後向き面
58 前向き面

【**手続補正4**】

【**補正対象書類名**】図面

【**補正対象項目名**】図1

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【図 1】

